

2021年5月の天候（修正版）

令和3年6月11日
盛岡地方气象台

この資料内のデータは速報値です。
後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。

《 特 徴 》

【内陸で日照時間が少ない】

1 天候経過

〈天候の特徴〉

この期間は、低気圧や前線と高気圧が交互に通過し天気は周期的に変わった。前半は高気圧に覆われて晴れる日が多く、後半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

月平均気温は、内陸は平年より高いから平年並で、沿岸は平年より高かった。月降水量は、内陸は平年より多いから平年並で、沿岸北部は平年並、沿岸南部は平年より少なかった。月間日照時間は、内陸は平年より少ないから平年並で沿岸は平年並だった。

上旬： 低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、後半は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。旬平均気温は、内陸は平年並から平年より低く、沿岸は平年並から平年より高かった。旬降水量は、県内は平年並だった。旬間日照時間は、県内は平年並だったが、沿岸北部では平年より多い所もあった。

中旬： 移動性高気圧に覆われて晴れる日が多く後半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。旬平均気温は、県内は平年よりかなり高かった。旬降水量は、県の北部で平年並から平年より少なく、県の南部で平年より少なかった。旬間日照時間は、内陸と沿岸北部で平年より多く、沿岸南部では平年並だった。

下旬： 低気圧や前線の影響で雨や曇りの日が多かったが、後半は移動性高気圧に覆われて晴れる日もあった。旬平均気温は、内陸は平年並から平年より低く、沿岸は平年並から平年より高かった。旬降水量は、多いからかなり多く、内陸や沿岸南部では平年並の所もあった。旬間日照時間は、県内は少ないからかなり少なかった。

○盛岡、宮古、大船渡の旬及び月統計値

地点\要素	平均気温	平年差	階級区分	降水量	平年比	階級区分	日照時間	平年比	階級区分	
盛岡	上旬	12.5	-0.5	低い	33.5	94	平年並	58.1	97	平年並
	中旬	16.6	2.4	かなり高い	22.5	63	少ない	66.3	114	多い
	下旬	15.7	-0.6	低い	68.5	197	かなり多い	42.0	60	かなり少ない
	月	14.9	0.4	平年並	124.5	117	多い	166.4	89	少ない
宮古	上旬	13.4	0.9	平年並	9.5	31	平年並	72.7	122	多い
	中旬	14.9	1.7	高い	16.0	55	平年並	68.0	119	多い
	下旬	14.8	0.3	平年並	60.5	160	多い	43.5	63	少ない
	月	14.4	0.9	高い	86.0	88	平年並	184.2	100	平年並
大船渡	上旬	14.5	1.5	高い	26.0	53	平年並	68.6	119	平年並
	中旬	16.0	2.0	高い	29.0	58	平年並	60.9	107	平年並
	下旬	16.7	1.1	高い	55.0	99	平年並	60.2	90	少ない
	月	15.7	1.5	かなり高い	110.0	71	少ない	189.7	105	多い

〈単位 気温:°C 降水量:mm 日照時間:h 平年差(比):°C(%)〉 平年値:1991~2020年の平均値

【注意事項】

2021年3月2日より、盛岡・宮古・大船渡を除く地点の日照計による日照時間の観測を終了し、「推計気象分布(日照時間)」による推計値を日照時間データとしています。これに伴い、平年値も推計値によるものに補正しています。

2 日別の気圧配置

- 1日：九州の西の低気圧が日本海中部へ進む。
- 2日：日本海中部の低気圧が日本の東へ進む。一方、華北の高気圧が黄海に移動する。
- 3日：北日本は西高東低の気圧配置となる。
- 4日：日本付近は日本の南の高気圧に緩やかに覆われる。
- 5日：朝鮮半島付近の低気圧が間宮海峡へ進み、この低気圧からのびる前線が北日本を通過する。
- 6日：日本付近は日本の北東の高気圧に緩やかに覆われる。
- 7日：引き続き、日本付近は日本の北東の高気圧に緩やかに覆われる。一方、中国東北区の低気圧が東へ進む。
- 8日：沿海州の低気圧が北海道付近へ進む。
- 9日：日本海北部の低気圧が千島近海へ進み、この低気圧からのびる前線が北日本を通過する。
- 10日：北海道の低気圧がオホーツク海へ進む。一方、朝鮮半島付近の高気圧が日本海中部に移動する。

- 11日：日本海中部の高気圧が東に移動する。北日本は気圧の谷となる。
- 12日：日本海北部の高気圧が日本の東に移動する。
- 13日：日本の東の高気圧が東に移動する。また、日本海中部の高気圧が東に移動する。北日本は気圧の谷となる。
- 14日：日本海中部の高気圧が東に移動する。北日本は気圧の谷となる。
- 15日：日本の東の高気圧が東に移動する。
- 16日：前線が東シナ海から朝鮮半島を通過して日本海中部にのびる。また、前線上の低気圧が黄海から日本海中部へ進む。
- 17日：東シナ海から千島近海にのびる前線が、日本付近を通過する。
- 18日：前線が東シナ海から関東の東を通過して千島の東にのびる。一方、日本海中部の高気圧が日本の東に移動する。
- 19日：前線が東シナ海から関東の東を通過して日本の東にのびる。一方、黄海の高気圧が西日本に次第に張り出す。
- 20日：前線が東シナ海から西日本を通過して日本の東にのびる。また、前線上の低気圧が東シナ海から対馬海峡へ進む。

- 21日：東シナ海から日本海を通過して日本の東にのびる前線上の低気圧が本州付近を通過する。また、別の低気圧が日本海を北東へ進む。
- 22日：日本海中部に低気圧が停滞する。また、前線が東シナ海から日本の南を通過して三陸沖にのびる。
- 23日：秋田沖の低気圧がゆっくり東へ進む。一方、黄海の高気圧が南東に移動する。
- 24日：東日本の高気圧が東に移動する。一方、黄海の低気圧が四国の南へ進む。
- 25日：黄海の低気圧が日本海中部へ進む。また、日本の南の低気圧が東へ進む。
- 26日：関東の東の低気圧が日本の東へ進む。一方、九州の西の高気圧が日本の南に移動する。
- 27日：前線を伴った低気圧が、九州の西から東海道沖を通過して三陸沖へ進む。
- 28日：三陸沖の低気圧が日本の東へ進む。また、黄海の低気圧が日本海中部へ進む。
- 29日：日本海中部の低気圧が北海道付近へ進む。一方、黄海の高気圧が九州の西に移動する。
- 30日：朝鮮半島付近の高気圧が日本海中部に移動する。
- 31日：日本付近は日本海中部の高気圧に覆われる。

3 気象統計値表

○気象官署及び特別地域気象観測所(5月として5位まで記載)

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始
月平均気温の高い方から	℃	大船渡	3	15.7	2021年5月1日	1964年

○アメダス(5月として1位更新:統計期間10年以上の要素を記載)

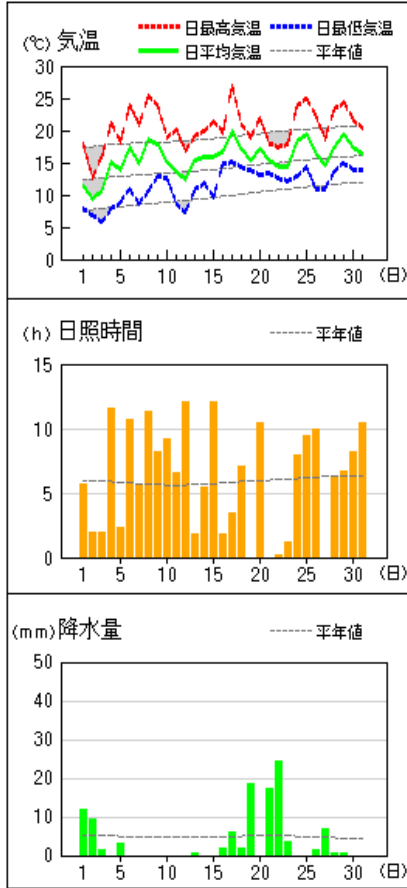
要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始
日最大風速・風向	m/s	好摩	1	14.2 (南西)	2021年5月17日	1977年
		川井	1	11.7 (南南西)	2021年5月10日	1978年
日最大瞬間風速・風向	m/s	川井	1	31.4 (南西)	2021年5月10日	2009年
		遠野	1	25.2 (北西)	2021年5月10日	2009年

注)「年1」は通年の極値更新を表す。

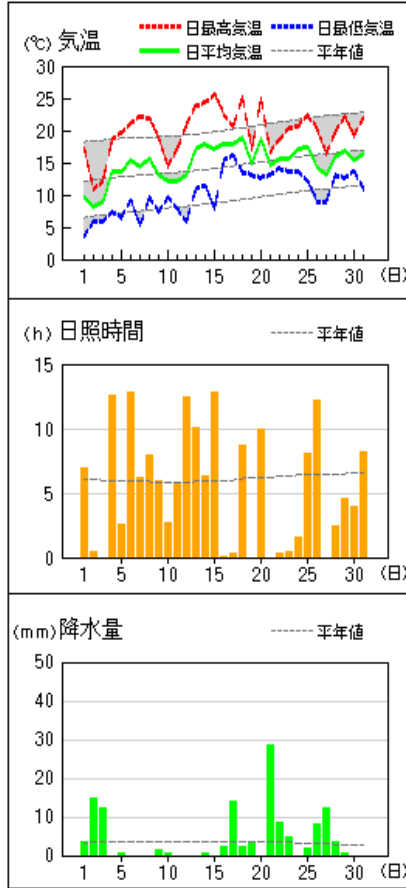
4 気象経過図

アメダス 気象経過図：2021年05月01日-2021年05月31日

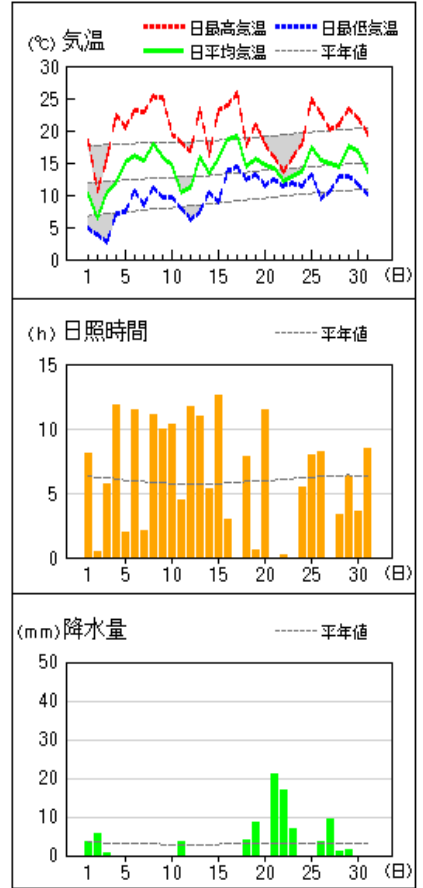
大船渡



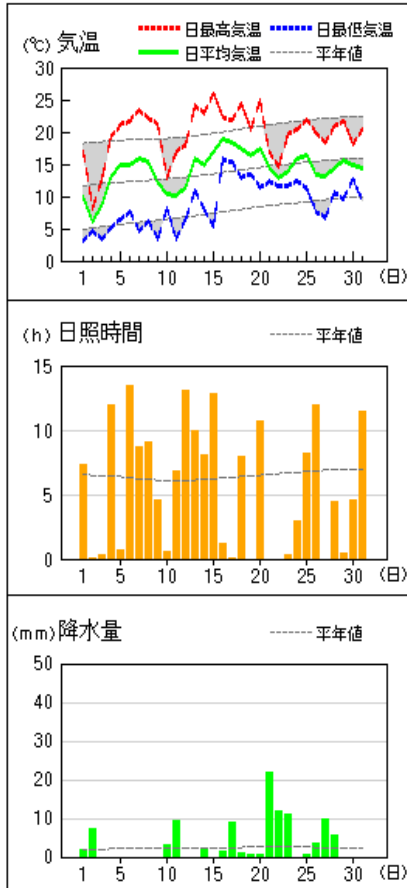
盛岡



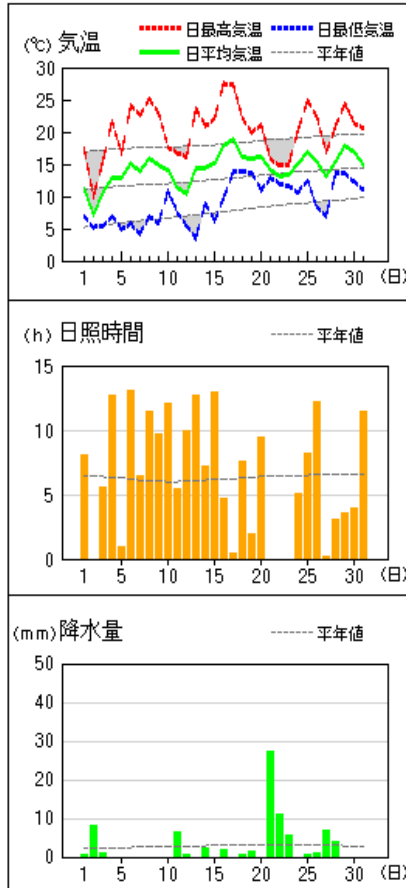
宮古



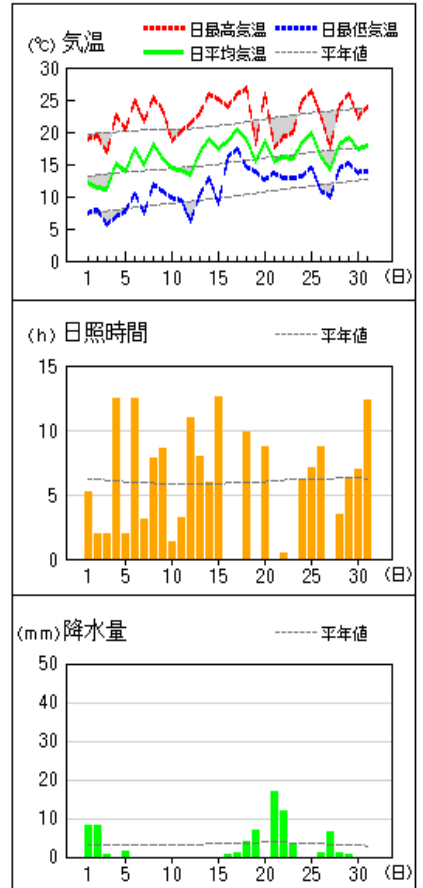
二戸



久慈

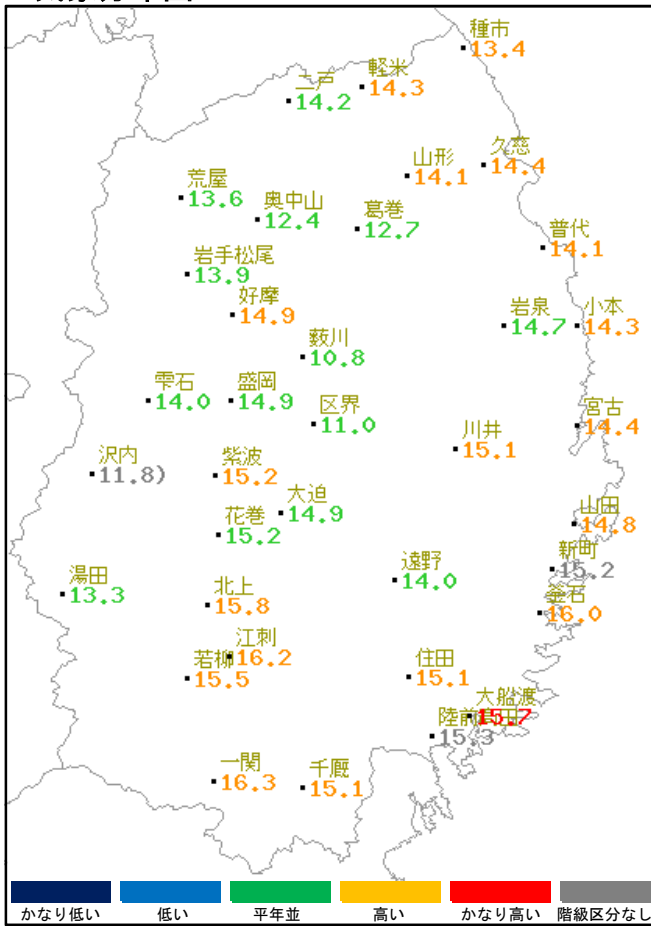


一関

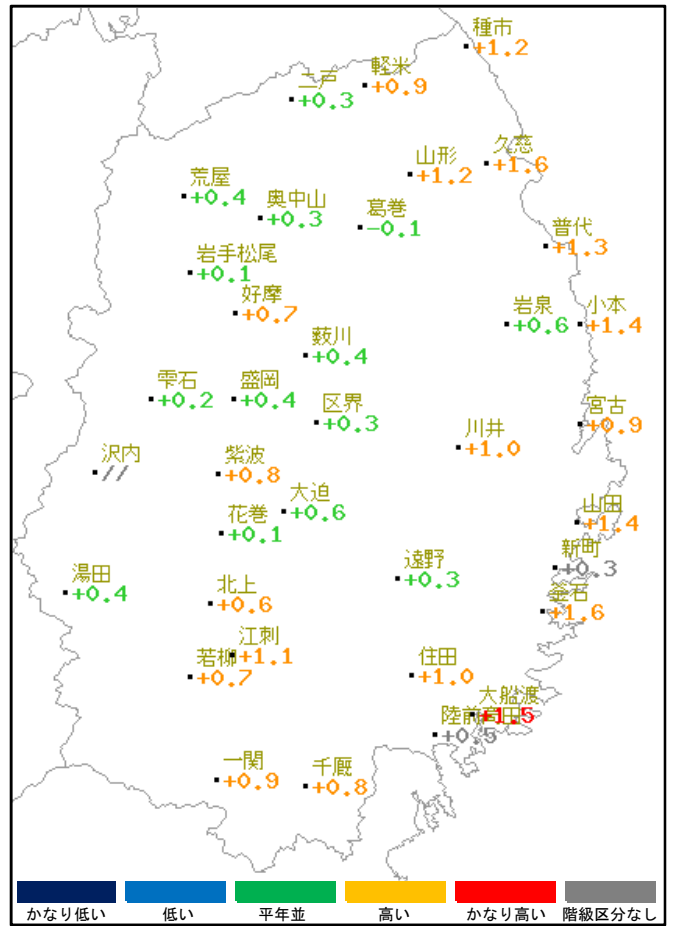


※盛岡・宮古・大船渡を除き、推計気象分布（日照時間）による推計値。

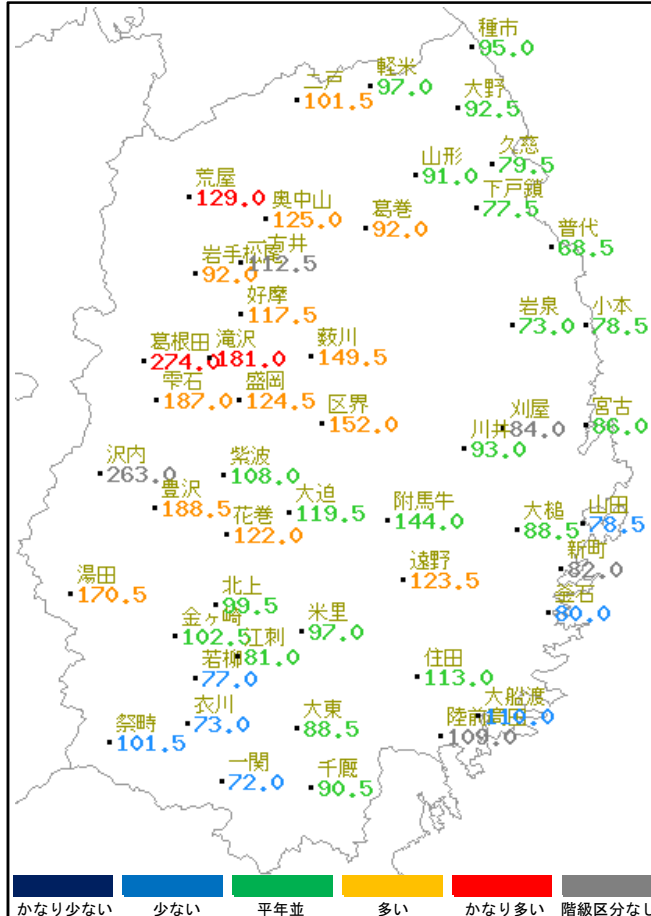
5 気象分布図



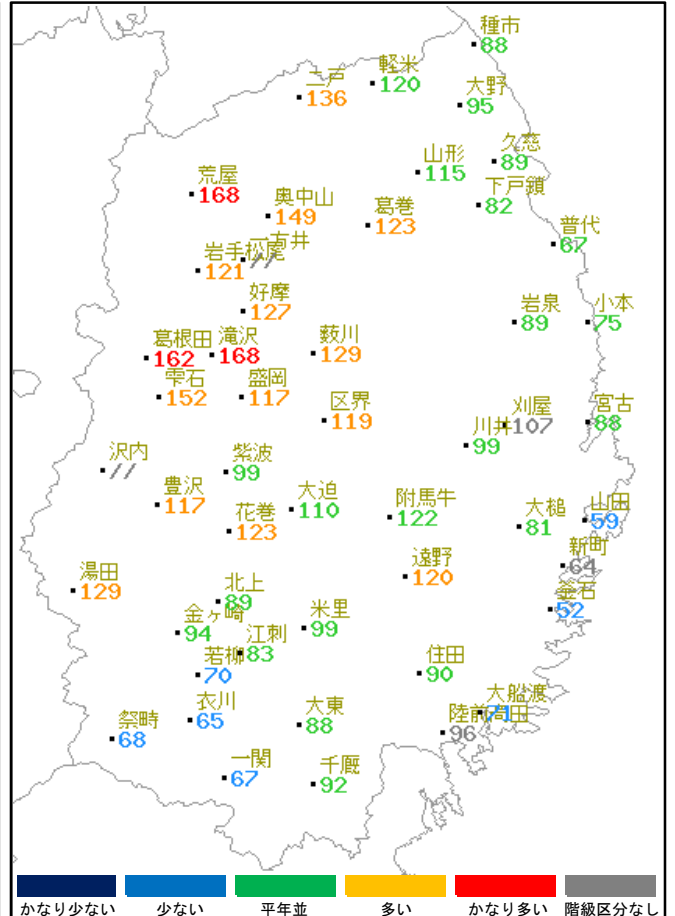
月平均気温実況値(°C)



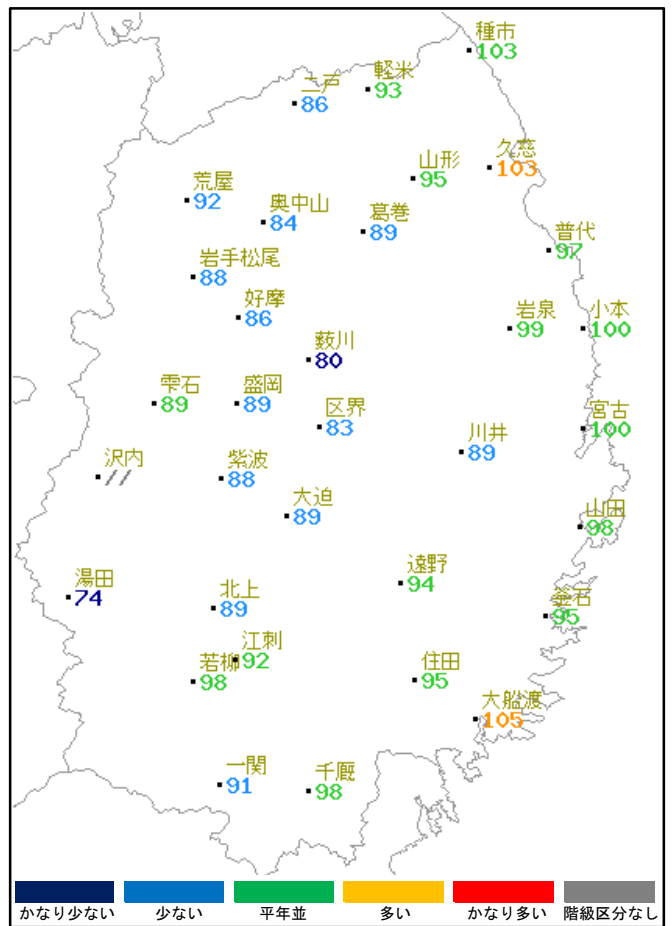
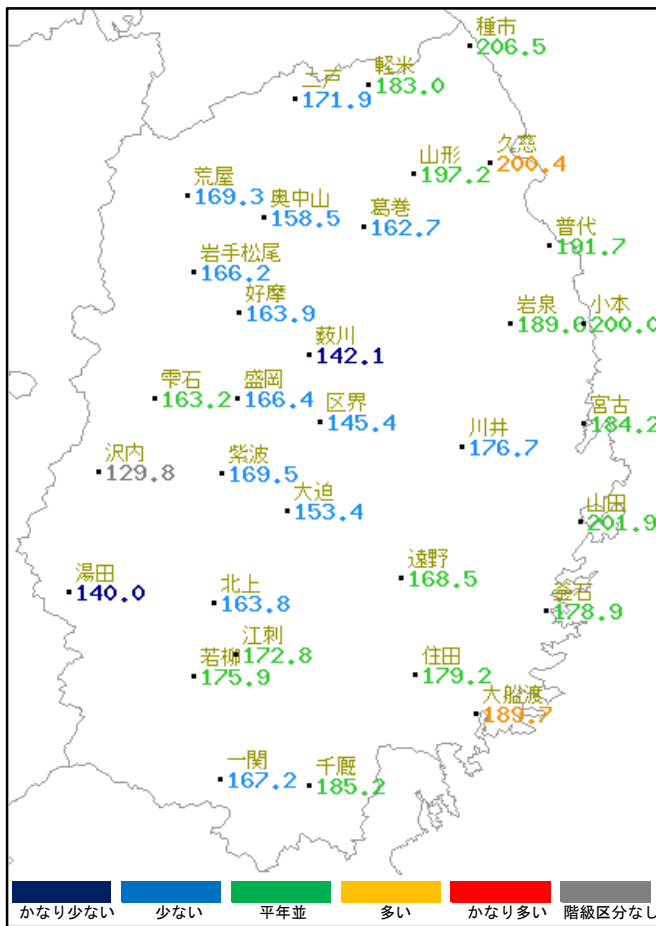
月平均気温平年差(°C)



月降水量実況値(mm)



月降水量平年比(%)



月間日照時間実況値 (h)

月間日照時間平年比 (%)

※盛岡・宮古・大船渡を除き、推計気象分布（日照時間）による推計値。

記号の意味) : 準正常値] : 資料不足値 × : 資料なし // : 平年値なし
 平年値 : 1991～2020年の平均値 (花巻は2003～2020年)

各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード (CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】

https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=030000&term=1month

【注意事項】

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、盛岡は気象官署、宮古・大船渡は特別地域気象観測所、その他の観測所は地域気象観測所の観測値を使用しています。

なお、本資料の著作権は盛岡地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「盛岡地方気象台の資料に拠った」旨記載して下さい。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

本資料に関する問い合わせ先

盛岡地方気象台 電話019(622)7870